

5月17日[Sat]~18日[Sun]

スポーツクライミングのリードユース日本選手権開催！



▲圧巻の登りに観客は魅了されました

九州クライミングベースSAGA（北多久町）で「第13回リードユース日本選手権多久大会（LYC2025）」（主催：公益社団法人日本山岳・スポーツクライミング協会（JMSCA））が開催され、19歳以下と17歳以下のクラスで活躍中の全国の選手たちが力を競い合いました。

大会は初日に予選、2日目に決勝を実施。佐賀県山岳・スポーツクライミング連盟からは7人の選手が出場し、多くの観客が声援を送りました。なお結果については、惜しくも決勝進出を逃したものの、次の舞台での活躍に期待が寄せられています。

【佐賀県からの出場選手】

U-19男子…河端 航大／通谷 結太

U-19女子…梶 絢香

U-17男子…通谷 幹

U-17女子…中川内 心／通谷 佐与／中村 百花

5月20日[Tue]

ブルーナーズ選手と子どもたちが交流



▲佐賀ブルーナーズの富山選手（中央）と交流する子どもたち

地域の中で安心した居場所づくりをめざす「みんなの100円食堂」がJAグループさがと佐賀ブルーナーズの協賛で特別編として開催されました。

「みんなの100円食堂」は富永美紀さんら地域のボランティアの協力で令和5年6月から毎月第1土曜日に開かれています。そうめん流しや恵方巻づくりなど季節に合わせた催しを参加者と一緒に行われています。今回は特別編として、JAグループさがからは佐賀県産の食材が提供され、佐賀ブルーナーズからは角田太輝選手と富山仁貴選手が参加し、家族連れの参加者約150人はカレーを頬張りながら選手との交流を楽しみました。

発起人の田中英行さんは「毎月開催しているので、子どもからお年寄りまで気軽に来て楽しんでほしいですね」とにこやかに話されました。

5月22日[Thu]

佐賀東信用組合が子育て応援の寄附金 贈呈



▲柿本営業支援部長（右）から横尾市長（左）へ目録が手渡されました

平成28年度から多久市と「まち・ひと・しごと創生に関する連携協定」を締結している佐賀東信用組合から子育て応援の寄附金を贈呈いただきました。同組合は地域の子育てを応援するため、協定を結ぶ県内9市町に「ふるさと応援定期 とうしんカルガモ定期預金」の契約額に応じて寄附されています。

佐賀東信用組合の柿本泰志営業支援部長は「児童センターを訪れる子どもたちの一助となればうれしい」と話され、横尾俊彦市長は「子どもたちのためにご寄附いただきありがとうございます。今後も地方創生をよりよく展開できるよう尽力していきたい」と感謝の言葉を述べました。

もくじ

- 02 まちの話題
- 04 特集 ローカルジャパン展
- 06 多久市からのお知らせ
- 11 あじさいへ行こう！
- 12 教育委員会だより
- 13 市長コラム
- 15 健康ノススめ
- 16 おたっしゅだより
- 18 まちのPickUPインフォメーション
- 22 ウォールアート ほか

今月の論語

不能正其身、如正人何。
その身を正しくすること能わずんば、人を正しくすること如何せん

出典…子路第十三

自分の行いを正し
ていなければ、人を
正そうとしてもし
やうがない。

今月の帰宅放送は、
東原彦倉中央校9年の
寺川 優花さんです。



多久市公式
X (旧Twitter)



多久市公式
YouTube



多久市公式
Instagram



多久市公式
Facebook

